

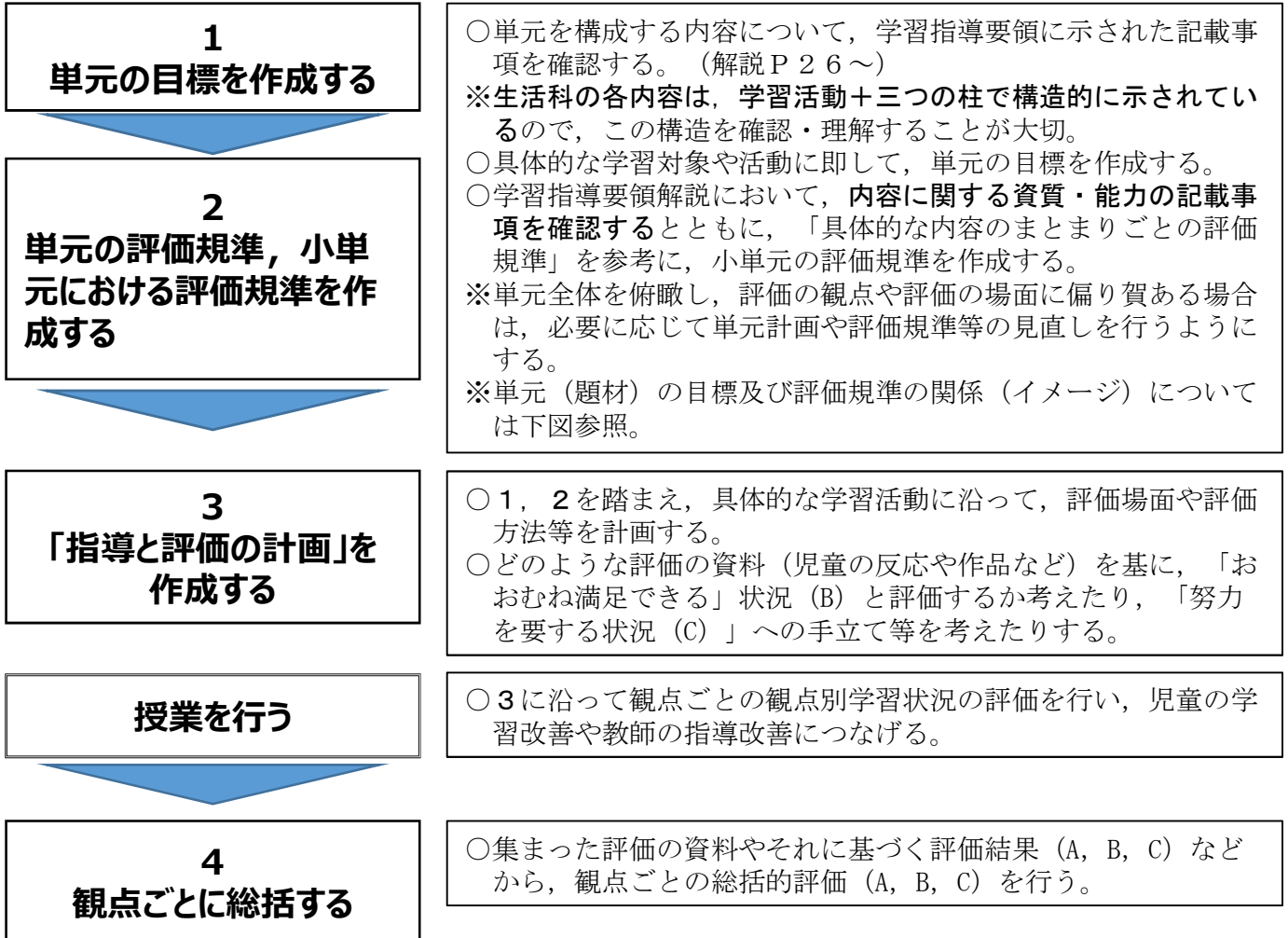
生活 単元（題材）ごとの学習評価について



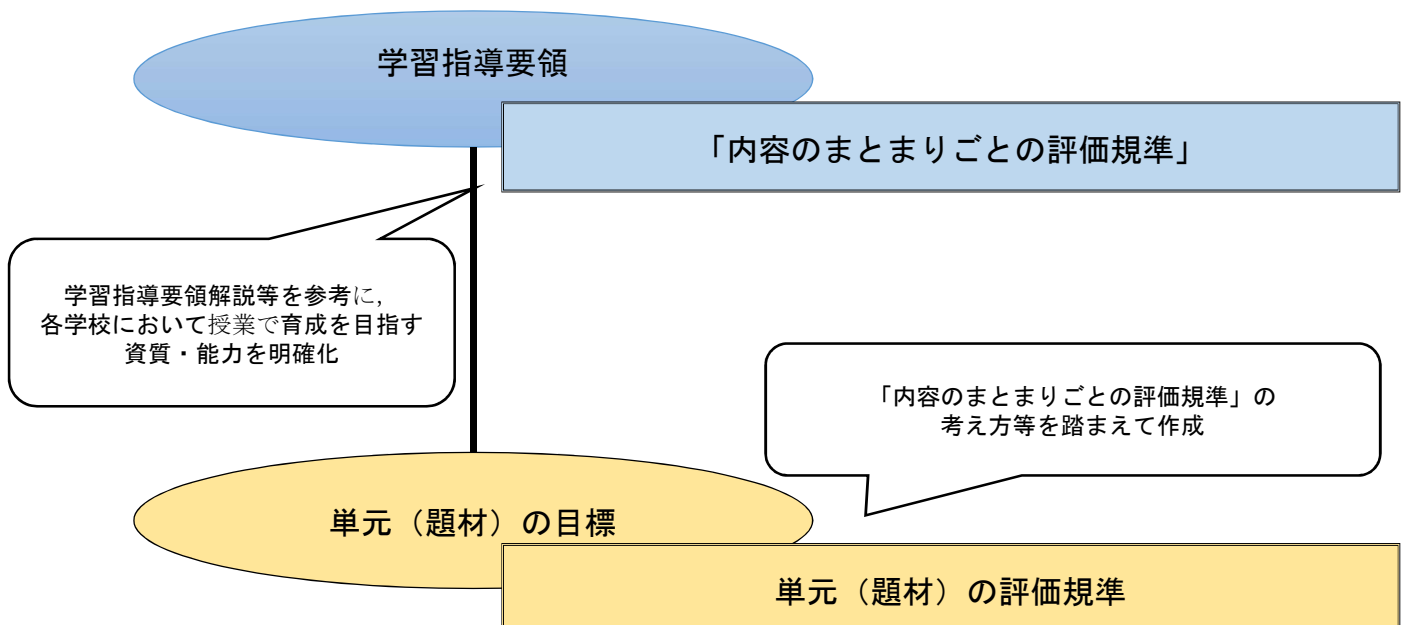
生活科における評価の進め方は次の通りです。

【評価の進め方】

【留意点】



単元（題材）の目標及び評価規準の関係性について（イメージ図）

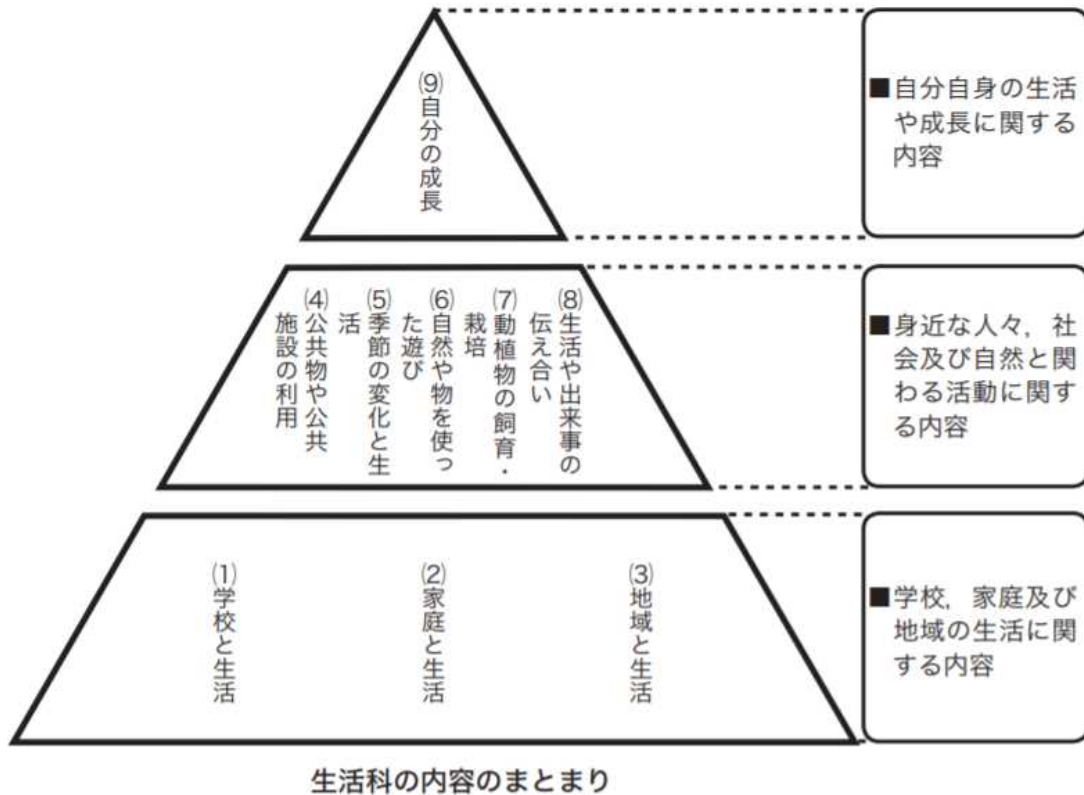


生活 単元（題材）ごとの学習評価について



生活科における単元及び単元の目標を作成する手順について説明します。

小学校生活科における内容のまとまりは、次のようになっています。



生活科の単元は、内容（１）～（９）を基に、各学校が意図的・計画的に構成するものです。その際、生活科の単元の特徴を大切にすることが重要です。

【生活科の単元の特徴・・・解説P87】

- 児童が、身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、よりよい生活に向けて思いや願いを実現していく必然性のある学習活動で構成する。
- 具体的な活動や体験を行い、気付きを交流したり活動を振り返ったりする中に、児童一人一人の思いや願いに沿った多様な学習活動が位置付く。
- 学習活動を行う中で、高まる児童の思いや願いに弾力的に対応する必要がある。
- それぞれの学校や地域の人々、社会及び自然に関する特性を把握し、そのよさや可能性を生かす。



各学校には、２年間にわたって各内容をどの学年でどのように扱うか構想し、妥当性・信頼性のある評価を行うよう創意工夫した単元計画を作成することが求められます。

生活科の単元は、１つの内容で１単元を構成する場合と、複数の内容で１単元を構成する場合が考えられます。

単元の目標は、単元を構成する内容に基づいて、学習指導要領及び学習指導要領解説等における「内容のまとまり」の記載事項を踏まえ、具体的な学習対象に即して作成します。その際、**複数内容を組み合わせて単元を構成する場合は、各内容に示された資質・能力の一部が単元から欠けることのないように気をつけなければなりません。**

生活科の単元の目標を作成する手順



生活科における単元の目標は次の通りです。ここでは、単元を1つの内容で構成した場合（例1）と、2つの内容で構成した場合（例2）の作成例をお示します。

【単元の目標を作成する手順】

- ① 単元を構成する内容について、学習指導要領に示された記載事項を確認する。
- ② ①と具体的な学習対象や活動に即して、単元の目標を作成する。

（例1）第2学年 内容（7）「動植物の飼育・栽培」に基づいた単元の目標の作成手順



- ① 単元を構成する内容について、学習指導要領に示された記載事項を確認する。

内容（7）「動植物の飼育・栽培」解説P43～

動物を飼ったり植物を育てたりする活動を通して、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけることができ、それらは生命をもっていることや成長していることに気付くとともに、生き物への親しみをもち、大切にしようとする。

- ② ①と具体的な学習対象や活動に即して単元の目標を作成する。

【単元の目標】

モルモットを飼育する活動を通して、モルモットの変化や成長の様子に関心をもって働きかけ、モルモットにあった世話の仕方や生命をもっていることや成長していることに気付き、モルモットへの親しみをもち、生き物を大切にしようとするができるようにする。

（例2）第1学年 内容（5）「季節の変化と生活」内容（6）「自然や物を使った遊び」に基づいた単元の目標の作成手順

- ① 単元を構成する内容について、学習指導要領に示された記載事項を確認する。

内容（5）「季節の変化と生活」解説P38～

身近な自然を観察したり、季節や地域の行事に関わったりするなどの活動を通して、それらの違いや特徴を見付けることができ、自然の様子や四季の変化、季節によって生活の様子が変わること気付くとともに、それらを取り入れ自分の生活を楽しくしようとする。

内容（6）「自然や物を使った遊び」解説P41～

身近な自然を利用したり、身近にある物を使ったりするなどして遊ぶ活動を通して、遊びや遊びに使う物を工夫してつくることができ、その面白さや自然の不思議さに気付くとともに、みんなと楽しみながら遊びを創り出そうとする。

- ② ①と具体的な学習対象や活動に即して単元の目標を作成する。

【単元の目標】

秋の自然を見付けたり遊んだりする活動を通して、秋とその他の季節との違いや特徴を見付けたり、遊びや遊びに使う物を工夫して作ったりすることができ、秋の自然の様子や夏から秋への変化、季節の自然を利用した遊びの面白さに気付くとともに、季節の変化を取り入れ自分の生活を楽しくしたり、みんなと楽しみながら遊びを創り出そうとしたりすることができるようにする。



複数の内容で単元を構成した場合は、それぞれの内容に示された資質・能力を、欠けることのないように示すようにします。

生活科の単元の評価規準，小単元における評価規準作成の手順



生活科は，児童が具体的な活動や体験を通す中で，あるいはその前後を含む学習の過程において文脈に即して学んでいくことから，評価は，活動や体験そのもの，すなわち結果に至るまでの過程を重視して行われます。

単元の評価規準及び一連の具体的な学習活動のまとめである小単元における評価規準を，**具体的な児童の姿として作成することが大切です。**

【単元の評価規準を作成する手順】

- ① 単元の目標を確認する。
 - ② 単元の目標に示された資質・能力を踏まえ，単元の評価規準を作成する。
 - ③ 学習指導要領解説において，内容に関する資質・能力の記載事項を確認するとともに，「具体的な内容のまとめごとの評価規準（例）」を参考に，小単元の評価規準を作成する。
- ※単元全体を俯瞰し，評価の観点や評価の場面に偏りがある場合は，必要に応じて単元計画や評価規準等の見直しを行うようにする。

（例1）第2学年 内容（7）「動植物の飼育・栽培」に基づいた作成の手順



① 単元の目標を確認する。

【単元の目標】

モルモットを飼育する活動を通して，／モルモットの変化や成長の様子に関心をもって働きかけ，／モルモットにあった世話の仕方や生命をもっていることや成長していることに気づき，／モルモットへの親しみを持ち，生き物を大切にしようとするができるようにする。／

② 単元の目標に示された資質・能力を踏まえ，単元の評価規準を作成する。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
モルモットを飼育する活動を通して，モルモットにあった世話の仕方や生命をもっていることや成長していることに <u>気付いている。</u>	モルモットを飼育する活動を通して，モルモットの変化や成長の様子に関心をもって <u>働きかけている。</u>	モルモットを飼育する活動を通して，モルモットへの親しみを持ち，生き物を大切に <u>しようとしている。</u>

③ 学習指導要領解説において，内容に関する資質・能力の記載事項を確認するとともに，「具体的な内容のまとめごとの評価規準（例）」を参考に，小単元の評価規準を作成する。

学習指導要領解説生活編における，内容に関する資質・能力の記載事項

知識及び技能の基礎	思考力，判断力，表現力等の基礎	学びに向かう力，人間性等
それらは生命をもっていることや成長していることに <u>気付くとは</u> ，動植物の飼育・栽培を行う中で，動植物が変化し成長していることに <u>気づき</u> ，生命をもっていることやその <u>大切さに気付くこと</u> である。	それらの育つ場所，変化や成長の様子に関心をもって働きかけるとは，動植物が育つ中でどのように変化し成長していくのか，どのような環境で育っていくのかについて興味や関心をもって，動植物に心を寄せ，よりよい成長を願って行為することである。	生き物への親しみを持ち，大切にしようとするとは，生き物に心を寄せ，愛着をもって接するとともに，生命あるものとして世話しようとする <u>こと</u> である。

具体的な内容のまとめごとの評価規準（例）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
「具体的な内容のまとめごとの評価規準（例）」を参考に，小単元における評価規準を作成する。		

小単元における評価規準を作成する

生活科の単元の評価規準，小単元における評価規準作成の手順

(例2) 第1学年 内容(5)「季節の変化と生活」内容(6)「自然や物を使った遊び」に基づいた単元の目標の作成手順

① 単元の目標を確認する。



【単元の目標】

秋の自然を見付けたり遊んだりする活動を通して，秋とその他の季節との違いや特徴を見付けたり，遊びや遊びに使う物を工夫して作ったりすることができ，秋の自然の様子や夏から秋への変化，季節の自然を利用した遊びの面白さに気付くとともに，季節の変化を取り入れ自分の生活を楽しくしたり，みんなと楽しみながら遊びを創り出そうとしたりすることができるようにする。

② 単元の目標に示された資質・能力を踏まえ，単元の評価規準を作成する。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
秋の自然を見付けたり遊んだりする活動を通して，秋の自然の様子や夏から秋への変化，季節の自然を利用した遊びの面白さに <u>気付いている。</u>	秋の自然を見付けたり遊んだりする活動を通して，秋とその他の季節との違いや特徴を見付けたり，遊びや遊びに使う物を工夫して <u>作ったりしている。</u>	秋の自然を見付けたり遊んだりする活動を通して，季節の変化を取り入れ自分の生活を楽しく <u>しよう</u> としたり，みんなと楽しみながら遊びを創り出そうとしたりして <u>いる。</u>

③ 学習指導要領解説において，内容に関する資質・能力の記載事項を確認するとともに，「具体的な内容のまとめりごとの評価規準(例)」を参考に，小単元の評価規準を作成する。

学習指導要領解説生活編における，内容に関する資質・能力の記載事項

知識及び技能の基礎	思考力，判断力，表現力等の基礎	学びに向かう力，人間性等
<p>自然の様子や四季の変化，季節によって生活の様子が<u>変わる</u>ことに<u>気付く</u>とは，身近な自然の共通点や相違点，季節の移り変わりに気付いたり，季節の変化と自分たちの生活との関わりに<u>気付いたり</u>することである。</p> <p>その面白さや自然の不思議さに<u>気付く</u>とは，遊びや遊びに使う物を工夫して<u>つくる</u>ことで，児童が，遊びの面白さとともに，自然の不思議さにも<u>気付く</u>ことができるようにすることである。</p>	<p>それらの違いや特徴を見付けることができるとは，児童が身近な自然や行事に興味をもち，それらを観察したりそれらに関わったりすることを通して，そこには同じ性質や変化があること，異なる特徴や違いがあること，時間の変化や繰り返しがあること，などに注意を向け，自覚することである。</p> <p><u>遊びや遊びに使う物を工夫してつくる</u>ことができるとは，試行錯誤を繰り返しながら，遊び自体を工夫したり，遊びに使う物を工夫して<u>つくり</u>たりして考えを巡らせることである。</p>	<p>それらを取り入れ自分の生活を<u>楽しくしよう</u>とするとは，自然との触れ合いや行事との関わりの中で，気付いたことを毎日の生活に生かし，自分自身の暮らしを楽しく充実したものにしようとする<u>こと</u>である。</p> <p><u>みんなと楽しみながら遊びを創り出そう</u>とするとは，自分と友達などとのつながりを大切にしながら，遊びを創り出し，毎日の生活を豊かにしていく<u>こと</u>である。</p>

具体的な内容のまとめりごとの評価規準(例)

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
「具体的な内容のまとめりごとの評価規準(例)」を参考に，小単元における評価規準を作成する。		

小単元における評価規準を作成する

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
小単元	1		
	2	単元全体を俯瞰し，評価の観点や評価の場面に偏りがある場合は，必要に応じて単元計画や評価規準等の見直しを行うようにする。	
	3		

育成を目指す資質・能力を踏まえた評価規準作成のポイント

知識・技能・・・気づきの質の高まり、思いや願いを実現する過程で身に付ける

生活科における「知識及び技能の基礎」は、「活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然やそれらの関わり等についての気づきが生まることが考えられる。生活科における気づきは、諸感覚を通して自覚された個別の事実であるとともに、それらが相互に関連付けられたり、既存の経験などと組み合わせられたりして、各教科等の学習や実生活の中で生きて働くものとなることを目指している。また、このような過程において、生活上必要な習慣や技能も活用されるものとして身に付けることを目指している。」と説明されています。（解説P12参照）

「知識及び技能の基礎」を評価するに当たっては、①気づきが自覚されること②個別の気づきが相互に関連付くこと③対象のみならず自分自身についての気づきが生まれることを、気づきの質の高まりとして見とることが大切です。生活上必要な習慣や技能については、特定の習慣や技能を取り出して指導するのではなく、思いや願いを実現する過程において身に付けていくものであることに留意する必要があります。

「知識・技能」のうち、知識に関する評価規準（例）

- ・評価規準の構造を、「〇〇に気付いている」「〇〇が分かっている」等として作成することが考えられる。
- ・「〇〇」には、知識の具体を入れる。

「知識・技能」のうち、技能に関する評価規準（例）

- ・評価規準の構造を、「△△において（の際）〇〇している」等として作成することが考えられる。
- ・「△△」には学習活動を、〇〇には解説P14に示した習慣や技能を参考にして、その具体を記述する。

思考・判断・表現・・・分析的・創造的に考えることを踏まえる！

生活科における「思考力、判断力、表現力等の基礎」は、「思いや願いの実現に向けて、『何をするか』『どのようにするか』と考え、それを実際に行い、次の活動へと向かっていく。その過程には、様々な思考や判断、表現が存在している。思いや願いを実現する過程において、身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、自分自身や自分の生活について考えたり表現したりすることができるようにすることを目指している。」、「ここでいう「考える」とは、児童が自分自身や自分の生活について、見付ける、比べる、たとえるなどの学習活動により、分析的に考えることである。また、試す、見通す、工夫するなどの学習活動により、創造的に考えることである。「表現する」とは、気付いたことや考えたこと、楽しかったことなどについて、言葉、絵、動作、劇化などの多様な方法によって、他者と伝え合ったり、振り返ったりすることである」と説明されています。（解説P14. 15参照）

「思考力、判断力、表現力等の基礎」を評価するに当たっては、①見付ける②比べる③たとえるなどと示された分析的に考えること、④試す⑤見通す⑥工夫するなどと示された創造的に考えることを踏まえる必要があります。

「思考・判断・表現」に関する評価規準（例）

- ・評価規準の構造を、「〇〇して（しながら）△△している」等として作成することが考えられる。
- ・〇〇には、具体的な学習活動において期待する思考を、△△には具体的な児童の姿を記述する。
- ・思考を具体的に表したものとして、以下も参考にすることができる。

①見付ける・・・見付けて、見付けながら

- ・思い起こして、感じて、気にしながら、意識しながら など

②比べる・・・比べて、比べながら

- ・特徴でまとめながら、違いで分けて、順序を考えながら など

③たとえる・・・たとえて、たとえながら

- ・知っていることで表しながら、関連付けながら、置き換えて、見立てて など

④試す・・・試して、試しながら

- ・実際に確かめながら、調べたりやってみたりして、練習しながら など

⑤見通す・・・見通して、見通しながら

- ・思い描きながら、予想しながら、振り返って など

⑥工夫する・・・工夫して、工夫しながら

- ・生かしながら、見直して など



例えば、「生き物のすみかの特徴を予想しながら、生き物探しをしている」などのようにあらわすことが考えられます。

育成を目指す資質・能力を踏まえた評価規準作成のポイント

・具体的な児童の姿としては、次が考えられます。

観察している、関わっている、記録している、方法を決めている、表している、集めている、楽しんでいる、遊んでいる、交流している、捉えている、知らせている、利用している、伝え合っている、計画を立てているなど

主体的に学習に取り組む態度・・・粘り強さ，学習の調整，実感や自信

生活科における「学びに向かう力，人間性等」は、「思いや願いの実現に向けて，身近な人々，社会及び自然に自ら働きかけ，意欲や自信をもって学んだり生活を豊かにしたりしようとすることを繰り返し，それが安定的に行われるような態度を養うことを目指している。」と説明されています。（解説P16参照）

「学びに向かう力，人間性等」を評価するに当たっては，

- ①「粘り強さ」・・・思いや願いの実現に向かおうとしていること
- ②「学習の調整」・・・状況に応じて自ら働きかけようとしていること
- ③「実感や自信」・・・意欲や自信をもって学んだり生活を豊かにしたりしようとするを繰り返し，安定的に行おうとしていること

などを踏まえる必要がある。

「主体的に学習に取り組む態度」に関する評価規準（例）

- ・評価規準の構造を，「〇〇し，△△しようとしている」などとして作成していることが考えられる。
- ・具体的な学習活動に即して，〇〇には①粘り強さ②学習の調整③実感や手応え，に関して具体的に表したものを，△△には具体的な児童の姿を記述する。



以上に示した「単元の目標作成の手順」「単元の評価規準作成の手順」を踏まえ，次に示す「具体的な内容のまとめごとの評価規準（例）」を参考にしながら，小単元の評価規準を定めます。

各学校において，各学校や地域，児童の実態に応じて具体的な学習活動を想定し，「具体的な内容のまとめごとの評価規準」をアレンジすることが重要です。資質・能力が育成された児童の姿を，具体的にイメージすることが欠かせません。

CHECK!

補足資料

「具体的な内容のまとめごとの評価規準（例）」（案）へ

補足資料「具体的な内容のまとめごとの評価規準（例）」（案）

内容（1）学校と生活

学校生活に関わる活動を通して、学校の施設の様子や学校生活を支えている人々や友達、通学路の様子やその安全を守っている人々などについて考えることができ、学校での生活は様々な人や施設と関わっていることが分かり、楽しく安心して遊びや生活をしたり、安全な登下校をしたりしようとする。

知識及び技能の基礎	思考力、判断力、表現力等の基礎	学びに向かう力、人間性等
学校生活に関わる活動を通して、学校での生活は様々な人や施設と関わっていることが分かる。	学校生活に関わる活動を通して、学校の施設の様子や学校生活を支えている人々や友達、通学路の様子やその安全を守っている人々などについて考えることができる。	学校生活に関わる活動を通して、楽しく安心して遊びや生活をしたり、安全な登下校をしたりしようとする。

内容のまとめごとの評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
学校生活に関わる活動を通して、学校での生活は様々な人や施設と関わっていることが分かれている。	学校生活に関わる活動を通して、学校の施設の様子や学校生活を支えている人々や友達、通学路の様子やその安全を守っている人々などについて考えている。	学校生活に関わる活動を通して、楽しく安心して遊びや生活をしたり、安全な登下校をしたりしようとしている。

学習指導要領解説生活編における内容に関する資質・能力の記載事項

知識及び技能の基礎	思考力、判断力、表現力等の基礎	学びに向かう力、人間性等
学校での生活は様々な人や施設と関わっていることが分かる とは、関わりを深めた施設や人々について、それらの位置や働き、存在や役割などの特徴に気付き、それらと自分との関わりに気付くだけでなく、それらがみんなのためや安全な学校生活のためにあることの意味を見いだすことである。	学校の施設の様子や学校生活を支えている人々や友達、通学路の様子やその安全を守っている人々などについて考える とは、児童が学校の施設の様子や学校生活を支えている人々や友達、通学路やその安全を守っている人々や、それらが自分とどのように関わっているかを考えることである。	楽しく安心して遊びや生活をしたり、安全な登下校をしたりしようとする とは、学校の施設、先生や友達などに関心をもって関わろうとすること、思いや願いをもって施設を利用しようとする、ルールやマナーを守って安全に登下校しようとするなどである。

具体的な内容のまとめごとの評価規準（例）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 学校の施設の位置や特徴、役割、学校を支えている人々の存在や働きなどが分かっている。 みんなで学校の施設を利用する楽しさやよさに気付いている。 学校の人々や施設がみんなのためや安全な学校生活のためにあることが分かっている。 通学路の様子や危険な箇所、安全を守っている人々の存在が分かっている。 学校の施設を使用する際、みんなで気持ちよく使用するためのきまりやマナーを守っている。 登下校において、安全を意識して通学路を歩いている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校の施設の位置や特徴を意識して、行ってみたい場所ややってみみたいことを選んでいく。 学校の施設や人々との関わりを思い描きながら、利用の仕方やマナーについて考えたことを交流している。 学校の施設の利用の仕方やマナーについて考えたことを生かしながら、利用している。 毎日の登下校において自分たちの安全を守ってくれている人々を思い起こして、感謝の気持ちを表している。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校の施設をもっと知りたい、先生や友達などと親しくなりたいという思いをもって、それらと関わろうとしている。 学校の施設の利用の仕方やマナーに応じて、楽しく遊んだり生活したりしようとしている。 通学路の様子やその安全を守っている人々の存在を感じながら、安全な登下校をしようとしている。

補足資料「具体的な内容のまとめごとの評価規準（例）」（案）

内容（2）家庭と生活

家庭生活に関わる活動を通して、家庭における家族のことや自分でできることなどについて考えることができ、家庭での生活は互いに支え合っていることが分かり、自分の役割を積極的に果たしたり、規則正しく健康に気を付けて生活したりしようとする。

知識及び技能の基礎	思考力、判断力、表現力等の基礎	学びに向かう力、人間性等
家庭生活に関わる活動を通して、家庭での生活は互いに支え合っていることが分かる。	家庭生活に関わる活動を通して、家庭における家族のことや自分でできることなどについて考えることができる。	家庭生活に関わる活動を通して、自分の役割を積極的に果たしたり、規則正しく健康に気を付けて生活したりしようとする。

内容のまとめごとの評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
家庭生活に関わる活動を通して、家庭での生活は互いに支え合っていることが <u>分</u> かっている。	家庭生活に関わる活動を通して、家庭における家族のことや自分でできることなどについて <u>考</u> えている。	家庭生活に関わる活動を通して、自分の役割を積極的に果たしたり、規則正しく健康に気を付けて生活したりしようとしている。

学習指導要領解説生活編における内容に関する資質・能力の記載事項

知識及び技能の基礎	思考力、判断力、表現力等の基礎	学びに向かう力、人間性等
家庭での生活は互いに支え合っていることが分かる とは、家庭生活においてそれぞれのよさや果たしている仕事、役割があること、それらと自分との関わりに気づき、家庭での生活は互いを思い、助け合い、協力し合うことで成立していること、自分も家庭を構成している大切な一人であることが分かることである。	家庭における家族のことや自分でできることなどについて考える とは、家族一人一人の存在や仕事、役割、家庭における団らんなどが、自分自身や自分の生活とどのように関わっているかを考えることである。また、自分のこととして行うべきことや家庭での喜びや気持ちよい生活のための工夫などについて、何が自分でできることかを考えることである。	自分の役割を積極的に果たしたり、規則正しく健康に気を付けて生活したりしようとする とは、自分の生活を見つめ直すことを通して、自分の役割を自覚し進んで取り組んだり、生活のリズムや健康に気を付けた暮らしを継続していくこととするものである。

具体的な内容のまとめごとの評価規準（例）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・家庭生活には、それぞれの果たしている仕事や役割があることが分かっている。 ・家庭の温かさ、家族一人一人のよさが分かっている。 ・自分でできることや自分の役割に気付いている。 ・家族の大切さや自分が家族によって支えられていることに気付いている。 ・自分の家庭を構成している大切な一人であることに気付いている。 ・日常生活において、生活のリズムや健康を大切にしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭生活を思い起こし、家族のことや自分のこと、自分がしていることについて表現している。 ・家族の存在や役割、喜ぶことを意識して、自分でできそうなことを集めている。 ・家庭生活におけるそれぞれの役割を見直しながら、自分の取り組み方を決めている。 ・家庭生活をよりよくするために取り組んだことを振り返りながら、友達と交流している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族のことに興味をもち、家庭生活を見つめようとしている。 ・家族のためにという願いをもって、自分でできることに何度も繰り返し取り組もうとしている。 ・家庭生活をよりよくするために、自分の取組を見直しながら、自分の役割を果たそうとしている。 ・生活のリズムを整えたり、健康に気を付けたりするようになった自分に自信をもって、生活しようとしている。

補足資料「具体的な内容のまとめごとの評価規準（例）」（案）

内容（3）地域と生活

<p>地域に関わる活動を通して、地域の場所やそこで生活したり働いたりしている人々について考えることができ、自分たちの生活は様々な人や場所と関わっていることが分かり、それらに親しみや愛着をもち、適切に接したり安全に生活したりしようとする。</p>		
知識及び技能の基礎	思考力、判断力、表現力等の基礎	学びに向かう力、人間性等
<p>地域に関わる活動を通して、自分たちの生活は様々な人や場所と関わっていることが分かる。</p>	<p>地域に関わる活動を通して、地域の場所やそこで生活したり働いたりしている人々について考えることができる。</p>	<p>地域に関わる活動を通して、様々な人や場所に親しみや愛着をもち、適切に接したり安全に生活したりしようとする。</p>
内容のまとめごとの評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>地域に関わる活動を通して、自分たちの生活は様々な人や場所と関わっていることが<u>分かっている</u>。</p>	<p>地域に関わる活動を通して、地域の場所やそこで生活したり働いたりしている人々について<u>考えている</u>。</p>	<p>地域に関わる活動を通して、様々な人や場所に親しみや愛着をもち、適切に接したり安全に生活したりしようとして<u>いる</u>。</p>
学習指導要領解説生活編における内容に関する資質・能力の記載事項		
知識及び技能の基礎	思考力、判断力、表現力等の基礎	学びに向かう力、人間性等
<p>自分たちの生活は様々な人や場所と関わっていることが分かるとは、地域に出掛け、自分の身の回りには様々な場所があり様々な人たちが生活していること、そこには様々な仕事があり、それらの仕事に携わっている人たちがいること、それらの関係や、自分との関わりに気付くことである。</p>	<p>地域の場所やそこで生活したり働いたりしている人々について考えるとは、実際に地域に出掛け、地域で生活したり働いたりしている人々の姿を見たり話を聞いたりするなどして、地域の場所や地域の人、それらが自分とどのように関わっているかを考えることである。</p>	<p>それらに親しみや愛着をもち、適切に接したり安全に生活したりしようとするとは、地域の人々や場所のよさに気付くとともに、それらを大切にする気持ちや地域に積極的に関わろうとする気持ちを一層強くもつことである。</p>
具体的な内容のまとめごとの評価規準（例）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・自分の身の回りには、様々な場所があり、そこには幼児や高齢者、障害のある人など多様な人々が生活していることが分かっている。 ・地域で生活したり働いたりしている人々や様々な場所が自分たちの生活を支えていることや、それらが自分と関わっていることが分かっている。 ・地域の親しみを感じる人々や愛着のある場所が増えたり、それらの人々や場所が自分たちの生活を楽しくしたりしていることに気付いている。 ・様々な人々に関わる際、相手や場に応じたあいさつや言葉遣いをしたり、訪問や連絡、依頼を適切に行ったりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の場所や人々を思い起し、地域の様子について友達と交流している。 ・行きたい場所や会ってみたい人、してみたいことを思い描きながら、計画を立てている。 ・地域の場所におけるふさわしい行動を予想しながら、活動の計画を立てたり、約束を決めたりしている。 ・好きになった場所や親しくなった人々などのことを振り返りながら、友達や地域の人々などに知らせている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の場所や人々に関わることへの関心や期待を持ちながら、それらと繰り返し関わろうとしている。 ・地域の場所や人々に応じて、適切に接したり安全に生活したりしようとしている。 ・地域の場所や人々への親しみや愛着をもって、それらのよさを大切にしようとしている。

補足資料「具体的な内容のまとめごとの評価規準（例）」（案）

内容（４）公共物や公共施設の利用

公共物や公共施設を利用する活動を通して、それらのよさを感じたり働きを捉えたりすることができ、身の回りにはみんなでするものがあることやそれらを支えている人々がいることなどが分かることとともに、それらを大切に、安全に気を付けて正しく利用しようとする。

知識及び技能の基礎	思考力、判断力、表現力等の基礎	学びに向かう力、人間性等
公共物や公共施設を利用する活動を通して、身の回りにはみんなでするものがあることやそれらを支えている人々がいることなどが分かる。	公共物や公共施設を利用する活動を通して、それらのよさを感じたり働きを捉えたりすることができる。	公共物や公共施設を利用する活動を通して、それらを大切に、安全に気を付けて正しく利用しようとする。

内容のまとめごとの評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
公共物や公共施設を利用する活動を通して、身の回りにはみんなでするものがあることやそれらを支えている人々がいることなどが分かっている。	公共物や公共施設を利用する活動を通して、それらのよさを感じたり働きを捉えたりしている。	公共物や公共施設を利用する活動を通して、それらを大切に、安全に気を付けて正しく利用している。

学習指導要領解説生活編における内容に関する資質・能力の記載事項

知識及び技能の基礎	思考力、判断力、表現力等の基礎	学びに向かう力、人間性等
身の回りにはみんなでするものがあることやそれらを支えている人々がいることなどが分かる とは、生活の中にあるみんなでするものの存在を、それらが目的に合わせて多様に存在することに気付くことである。また、それらと自分との関わりに気付いたり、幼児、高齢者、障害のある人など、多くの人々が利用していること、そうした多くの人々が利用しやすいようにするための利用方法やきまり、それを支える人々の存在があることに気付いたりすることである。	それらのよさを感じたり働きを捉えたりすることができる とは、実際に公共物や公共施設を利用することでそれらのよさを実感し、役割や機能を自分や自分の生活とつなげて捉えることである。	それらを大切に、安全に気を付けて正しく利用しようとする とは、公共物や公共施設を大切に扱い、安全で正しい利用をしていくことである。そのことに加えて、支えてくれている人々の思いや願いも大切にしながら、自分たちの生活に生かしていこうとすることである。

具体的な内容のまとめごとの評価規準（例）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 身の回りにはみんなでするものやみんなのための施設や場所があることが分かっている。 公共物や公共施設にすいて、多くの人々が利用していることやそれらを支えている人々がいることが分かっている。 ルールやマナーはみんなでするためによく利用するためにあること、安全に気を付けて正しく利用することが大切であることなどが分かっている。 公共物や公共施設を利用すると、自分たちの生活が楽しく豊かになることに気付いている。 公共物や公共施設を利用する際、ルールやマナーを守っている。 	<ul style="list-style-type: none"> みんなでするものや場所を思い起こしながら、それらの特徴を捉えている。 行きたい場所やしてみたいことを思い描きながら、関わりたい公共物や公共施設を決めたり、計画を立てたりしている。 公共物や公共施設のよさを感じたり働きを捉えたりしながら、それらを利用している。 公共物や公共施設の利用を振り返り、見つけたよさや働きを公共施設を支えている人々などに知らせている。 	<ul style="list-style-type: none"> 公共物や公共施設への関心や期待をもちながら、それらと繰り返し関わろうとしている。 公共物や公共施設の特徴に応じて、安全に気を付けて正しく利用しようとしている。 公共物や公共施設、それらを支えている人々に親しみや愛着をもち、大切にしようとしている。

補足資料「具体的な内容のまとめごとの評価規準（例）」（案）

内容（5）季節の変化と生活

身近な自然を観察したり，季節や地域の行事に関わったりするなどの活動を通して，それらの違いや特徴を見付けることができ，自然の様子や四季の変化，季節によって生活の様子が変わること気付くとともに，それらを取り入れ自分の生活を楽しくしようとする。

知識及び技能の基礎	思考力，判断力，表現力等の基礎	学びに向かう力，人間性等
身近な自然を観察したり，季節や地域の行事に関わったりするなどの活動を通して，自然の様子や四季の変化，季節によって生活の様子が変わること気付く。	身近な自然を観察したり，季節や地域の行事に関わったりするなどの活動を通して，それらの違いや特徴を見付けることができる。	身近な自然を観察したり，季節や地域の行事に関わったりするなどの活動を通して，それらを取り入れ自分の生活を楽しくしようとする。

内容のまとめごとの評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
身近な自然を観察したり，季節や地域の行事に関わったりするなどの活動を通して，自然の様子や四季の変化，季節によって生活の様子が変わること <u>気付いている</u> 。	身近な自然を観察したり，季節や地域の行事に関わったりするなどの活動を通して，それらの違いや特徴を <u>見付けている</u> 。	身近な自然を観察したり，季節や地域の行事に関わったりするなどの活動を通して，それらを取り入れ自分の生活を <u>楽しくしよう</u> としている。

学習指導要領解説生活編における内容に関する資質・能力の記載事項

知識及び技能の基礎	思考力，判断力，表現力等の基礎	学びに向かう力，人間性等
自然の様子や四季の変化，季節によって生活の様子が変わること に <u>気付く</u> とは，身近な自然の共通点や相違点，季節の移り変わりに <u>気付いたり</u> ，季節の変化と自分たちの生活との関わりに <u>気付いたり</u> することである。	それらの違いや特徴を見付けることができる とは，児童が身近な自然や行事に興味をもち，それらを観察したりそれらに関わったりすることを通して，そこには同じ性質や変化があること，異なる特徴や違いがあること，時間の変化や繰り返しが <u>あること</u> ，などに注意を向け， <u>自覚すること</u> である。	それらを取り入れ自分の生活を楽しくしようとする とは，自然との触れ合いや行事との関わりの中で， <u>気付いたことを毎日の生活に生かし</u> ，自分自身の暮らしを <u>楽しく充実したもの</u> にしようとする <u>こと</u> である。

具体的な内容のまとめごとの評価規準（例）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・身近な自然の様子共通点や違い，季節の移り変わりに<u>気付いている</u>。 ・自分たちの生活の中には，季節や地域に<u>ちなんだ行事があること</u>に<u>気付いている</u>。 ・身近な自然と自分たちの生活とが<u>結び付いていること</u>に<u>気付いている</u>。 ・自分たちの生活は，季節によって<u>様子が変わること</u>に<u>気付いている</u>。 	<ul style="list-style-type: none"> ・諸感覚を生かして，身近な自然に<u>関わっている</u>。 ・四季の変化や季節の特徴を<u>確かめながら</u>，身近な自然を<u>楽しんでいる</u>。 ・季節による地域の<u>特徴や人々の生活とのつながり</u>を感じながら，地域の行事に<u>関わっている</u>。 ・季節は<u>繰り返し変化していること</u>，そのことは自分たちの生活とも<u>関わっていること</u>を振り返り，<u>表現している</u>。 	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>楽しみたいという思いや願い</u>をもって，身近な自然と<u>触れ合ったり地域の行事に参加したり</u>している。 ・身近な自然の様子や季節の特徴に<u>応じながら</u>，それらと<u>関わろう</u>としている。 ・自分たちの生活が，身近な自然や季節の変化，地域の行事と<u>関わっていること</u>を<u>実感し</u>，それらを取り入れて生活を<u>楽しくしよう</u>としている。

補足資料「具体的な内容のまとめごとの評価規準（例）」（案）

内容（6）自然や物を使った遊び

身近な自然を利用したり，身近にある物を使ったりするなどして遊ぶ活動を通して，遊びや遊びに使う物を工夫してつくることができ，その面白さや自然の不思議さに気付くとともに，みんなと楽しみながら遊びを創り出そうとする。

知識及び技能の基礎	思考力，判断力，表現力等の基礎	学びに向かう力，人間性等
身近な自然を利用したり，身近にある物を使ったりするなどして遊ぶ活動を通して，その面白さや自然の不思議さに気付く。	身近な自然を利用したり，身近にある物を使ったりするなどして遊ぶ活動を通して，遊びや遊びに使う物を工夫してつくることができる。	身近な自然を利用したり，身近にある物を使ったりするなどして遊ぶ活動を通して，みんなと楽しみながら遊びを創り出そうとする。

内容のまとめごとの評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
身近な自然を利用したり，身近にある物を使ったりするなどして遊ぶ活動を通して，遊びの面白さや自然の不思議さに <u>気付いている。</u>	身近な自然を利用したり，身近にある物を使ったりするなどして遊ぶ活動を通して，遊びや遊びに使う物を工夫して <u>つくっている。</u>	身近な自然を利用したり，身近にある物を使ったりするなどして遊ぶ活動を通して，みんなと楽しみながら遊びを <u>創り出そうとしている。</u>

学習指導要領解説生活編における内容に関する資質・能力の記載事項

知識及び技能の基礎	思考力，判断力，表現力等の基礎	学びに向かう力，人間性等
その面白さや自然の不思議さに気付く とは，遊びや遊びに使う物を工夫してつくすることで，児童が，遊びの面白さとともに，自然の不思議さにも気付くことができるようにすることである。	遊びや遊びに使う物を工夫してつくることができる とは，試行錯誤を繰り返しながら，遊び自体を工夫したり，遊びに使う物を工夫してつくったりして考えを巡らせることである。	みんなと楽しみながら遊びを創り出そうとする とは，自分と友達などとのつながりを大切にしながら，遊びを創り出し，毎日の生活を豊かにしていくことである。

具体的な内容のまとめごとの評価規準（例）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・身近な自然や物は，いろいろな遊びに利用できることに気付いている。 ・遊びの楽しさや遊びを工夫したり遊びを創り出したりする面白さに気付いている。 ・自然の中のきまり，自然の事象の不思議さに気付いている。 ・約束やルールが大切なことや，それを守って遊ぶと楽しいことに気付いている。 ・みんなで楽しく遊ぶ際，道具や用具の準備や片付け，掃除，整理整頓をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しみたい遊びを思い描きながら，遊びに使う物を選んでいる。 ・予想したり，確かめたり，見直したりしながら，遊びに使う物をつくったり遊んだりしている。 ・比べたり，試したり，見立てたりしながら，遊びを楽しんでいる。 ・遊びの約束やルールなどを工夫しながら遊んでいる。 ・遊びを工夫したり，友達と楽しく遊んだりしたことを振り返り，表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなで楽しく遊びたいという願いをもち，粘り強く遊びを創り出そうとしている。 ・友達のよさを取り入れたり自分との違いを生かしたりして，遊びを楽しくしようとしている。 ・みんなで遊ぶと生活が楽しくなることを実感し，毎日の生活を豊かにしようとしている。

補足資料「具体的な内容のまとめごとの評価規準（例）」（案）

内容（7）動植物の飼育・栽培

動物を飼ったり植物を育てたりする活動を通して、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけることができ、それらは生命をもっていることや成長していることに気付くとともに、生き物への親しみを持ち、大切にしようとする。

知識及び技能の基礎	思考力、判断力、表現力等の基礎	学びに向かう力、人間性等
動物を飼ったり植物を育てたりする活動を通して、それらは生命をもっていることや成長していることに気付く。	動物を飼ったり植物を育てたりする活動を通して、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけることができる。	動物を飼ったり植物を育てたりする活動を通して、生き物への親しみを持ち、大切にしようとする。

内容のまとめごとの評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
動物を飼ったり植物を育てたりする活動を通して、それらは生命をもっていることや成長していることに気付いている。	動物を飼ったり植物を育てたりする活動を通して、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけている。	動物を飼ったり植物を育てたりする活動を通して、生き物への親しみを持ち、大切にしようとしている。

学習指導要領解説生活編における内容に関する資質・能力の記載事項

知識及び技能の基礎	思考力、判断力、表現力等の基礎	学びに向かう力、人間性等
それらは生命をもっていることや成長していることに気付くとは、 動植物の飼育・栽培を行う中で、動植物が変化し成長していることに気づき、生命をもっていることやその大切さに気付くことである。	それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけるとは、 動植物が育つ中でどのように変化し成長していくのか、どのような環境で育っていくのかについて興味や関心をもって、動植物に心を寄せ、よりよい成長を願って行為することである。	生き物への親しみを持ち、大切にしようとするとは、 生き物に心を寄せ、愛着をもって接するとともに、生命あるものとして世話しようとすることである。

具体的な内容のまとめごとの評価規準（例）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・ 動植物の特徴、育つ場所、変化や成長の様子に気付いている。 ・ 育てている動植物に合った世話の仕方があることに気付いている。 ・ 生き物は生命をもっていることや成長していることに気付いている。 ・ 生き物への親しみが増し、上手に世話ができるようになったことに気付いている。 ・ 動植物の飼育・栽培において、その特徴に合わせた適切な仕方で世話をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生き物のすみかの特徴を予想しながら、生き物探しをしている。 ・ 動植物の育つ環境の違いなどを意識しながら、育てたい動物や植物を選んでいる。 ・ 育つ環境と関係付けながら、観察したり世話をしたりしている。 ・ 他の動物や植物の成長などとの違いで比較しながら表現している。 ・ 育つ場所、変化や成長の様子を調べたり、変化の様子を予想したりしながら関わっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ よりよい成長を願って、繰り返し関わろうとしている。 ・ 動植物の特徴に応じて、世話をしようとしている。 ・ 生き物に親しみや愛着をもったり、自分が関わりが増したことに自信をもったりしたことを実感し、命あるものとして関わろうとしている。

補足資料「具体的な内容のまとめごとの評価規準（例）」（案）

内容（８）生活や出来事の伝え合い

自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を通して、相手のことを想像したり伝えたいことや伝え方を選んだりすることができ、身近な人々と関わることのよさや楽しさが分かるとともに、進んで触れ合い交流しようとする。

知識及び技能の基礎	思考力、判断力、表現力等の基礎	学びに向かう力、人間性等
自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を通して、身近な人々と関わることのよさや楽しさが分かる。	自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を通して、相手のことを想像したり伝えたいことや伝え方を選んだりすることができる。	自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を通して、進んで触れ合い交流しようとする。

内容のまとめごとの評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を通して、身近な人々と関わることのよさや楽しさが分かっている。	自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を通して、相手のことを想像したり伝えたいことや伝え方を選んだりしている。	自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を通して、進んで触れ合い交流しようとしている。

学習指導要領解説生活編における内容に関する資質・能力の記載事項

知識及び技能の基礎	思考力、判断力、表現力等の基礎	学びに向かう力、人間性等
身近な人々と関わることのよさや楽しさが分かる とは、自分のことや伝えたいことが相手に伝わることや、相手のことや相手が伝えたいと考えていることを理解できることのよさや楽しさが分かることである。	相手のことを想像したり伝えたいことや伝え方を選んだりする とは、相手のことを思い浮かべたり、相手の立場を気かけたりするとともに、伝えたいことが相手に伝わるかどうかを判断して伝える内容や伝える方法を決めることである。	進んで触れ合い交流しようとする とは、互いのことを理解しようと努力し、積極的に関わっていくことで、自ら協働的な関係を築いていこうとすることである。

具体的な内容のまとめごとの評価規準（例）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・自分のことや伝えたいことが相手に伝わるよさや楽しさが分かっている。 ・相手のことや相手が伝えたいと考えていることを理解できるよさや楽しさが分かっている。 ・相手や目的に応じて、様々な伝え方があることに気付いている。 ・伝え合う活動において、適切な挨拶や言葉遣いをしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・誰に伝えるかを考え、伝えたいことを選んでいる。 ・相手や目的に応じて、伝え方を選んでいる。 ・これまでの体験を基に、相手のことを思い浮かべながら、伝え方を工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの生活や地域の出来事を伝えたいという思いをもち、進んで触れ合い交流しようとしている。 ・相手の反応や状況に合わせて、多様な方法で伝えたいことや気持ちを表そうとしている。 ・身近な人々と関わることのよさや楽しさを実感し、多様な人々との関わりを自ら築いていこうとしている。

補足資料「具体的な内容のまとめごとの評価規準（例）」（案）

内容（9）自分の成長

自分自身の生活や成長を振り返る活動を通して、自分のことや支えてくれた人々について考えることができ、自分が大きくなったこと、自分でできるようになったこと、役割が増えたことなどが分かるとともに、これまでの生活や成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちを持ち、これからの成長への願いをもって、意欲的に生活しようとする。

知識及び技能の基礎	思考力、判断力、表現力等の基礎	学びに向かう力、人間性等
自分自身の生活や成長を振り返る活動を通して、自分が大きくなったこと、自分でできるようになったこと、役割が増えたことなどが分かる。	自分自身の生活や成長を振り返る活動を通して、自分のことや支えてくれた人々について考えることができる。	自分自身の生活や成長を振り返る活動を通して、これまでの生活や成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちを持ち、これからの成長への願いをもって、意欲的に生活しようとする。

内容のまとめごとの評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
自分自身の生活や成長を振り返る活動を通して、自分が大きくなったこと、自分でできるようになったこと、役割が増えたことなどが <u>分かっている</u> 。	自分自身の生活や成長を振り返る活動を通して、自分のことや支えてくれた人々について <u>考えている</u> 。	自分自身の生活や成長を振り返る活動を通して、これまでの生活や成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちを持ち、これからの成長への願いをもって、意欲的に <u>生活しようとしている</u> 。

学習指導要領解説生活編における内容に関する資質・能力の記載事項

知識及び技能の基礎	思考力、判断力、表現力等の基礎	学びに向かう力、人間性等
自分が大きくなったこと、自分でできるようになったこと、役割が増えたことなどが分かる とは、体が大きくなるなどして心も体も成長したこと、技能が習熟し様々なことができるようになったこと、自分の役目が増え役目を果たすことができるようになったことなどに気付くことである。	自分のことや支えてくれた人々について考える とは、現在の自分を見つめ、過去の自分と比べることで、自分らしさや成長し続ける自分を実感することである。	これまでの生活や成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちを持ち、これからの成長への願いをもって、意欲的に生活しようとする とは、成長した自分を実感し、それを支えてくれた人に対する感謝の気持ちをもつとともに、成長の喜びが更なる成長を願う心につながっていくことである。

具体的な内容のまとめごとの評価規準（例）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 自分が大きくなったこと、自分でできるようになったこと、役割が増えたことなどが分かっている。 自分の成長を支えてくれた人々の存在や自分との関わりに気付いている。 優しい気持ち、他者への思いやり、我慢する心など、内面的な成長に気付いている。 自分自身のよさや可能性に気付いている。 	<ul style="list-style-type: none"> 過去の自分自身や出来事を振り返り、現在の自分と比べている。 現在の自分と比べながら、自分自身や出来事を振り返っている。 自分の生活や成長について振り返り、自分なりの方法で表している。 自分の生活や成長について自分なりに表しながら振り返っている。 成長を支えてくれた人々の存在や自分との関わりについて考え、感謝の気持ちを表している。 自分らしさを捉え、自分の成長に希望を持ち、これからの生活について考えている。 これからの生活について考えながら、自分らしさを捉えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分自身の成長に関心を持ち、自分の成長を振り返ろうとしている。 成長を振り返るために、手掛かりを見付けたり集めたりしようとしている。 自分自身の成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちを持ち、伝えようとしている。 これからの成長への願いをもって、意欲的に生活しようとしている。